

《担当者名》 近藤里美 skondo@hoku-iryo-u.ac.jp 浅野雅子

【概要】

音楽を療法的に用いるための音楽の基礎知識を習得する科目である。

【学修目標】

音楽を療法的に用いるために音楽理論の基礎知識を学ぶ。

1. 楽譜を解釈する。
2. 音程について説明できる。
3. 調性について理解し、移調や転調をすることができる。
4. 和音の構成を理解し、記譜することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	・講義の進め方、概要、評価の説明 ・様々な音楽記号の理解	浅野雅子 近藤里美
2	楽譜の読み方	・音符、装飾記号、省略記号、反復記号などの記譜法 ・様々な譜表と音名の理解	浅野雅子
3	音程	・音程の種類と理解と記譜法：長、短について	浅野雅子
4	音程	・音程の種類と理解と記譜法：増、減について	浅野雅子
5	音程	・音程の種類と理解と記譜法：和音の基礎	近藤里美
6 }	音階と調性	・音階の理解と記譜法：長音階	近藤里美
7			
8 }	音階と調性	・音階の理解と記譜法：短音階	近藤里美
10			
11 }	移調と転調	・移調と転調の理解とそれぞれの記譜法	近藤里美
12			
13	和音の応用	・和音の理解と記譜法：コードネーム	近藤里美
14	和音の応用	・和音の理解と記譜法：和音の配置と転回形	近藤里美
15	まとめ	・授業を振り返り要点の整理と、各自の課題の抽出	近藤里美

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

平常点50%、授業内で実施する確認テスト50%

【教科書】

講義時に資料を配布する。

【参考書】

笠原潔著 「音楽理論の基礎」 放送大学教育振興会 2007年

小谷野謙一著 「よくわかる楽典の教科書」 ヤマハミュージックメディア 2011年

【学修の準備】

シラバスの講義予定に基づき、十分に事前学修・事後学修を行うこと。事前学修、事後学修にはそれぞれ80分の時間を費やすこと。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）作業療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士） 浅野雅子（作業療法士、音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での音楽療法士としての実務経験を活かし、音楽療法に必要な楽典の知識について講義を行う。